

なくてはならない

千葉の
カイシヤ
2025

日刊工業新聞社 千葉支局・編



株式会社竹森工業

1966年創業、顧客から品質で選ばれる 大型タンクメーカー

—時代の流れに応じた案件への対応力で、顧客のあらゆるニーズを実現



- ・設計から工場製作、現地据付工事まで、一気通貫の完全受注生産
- ・ベテランからの技術継承で一人ひとりがプロフェッショナル

株式会社竹森工業は大型タンクや圧力容器、サイロなどの有力メーカーだ。手がけている製品は国内のガス会社や製鉄所、化学工場、食品工場、下水処理場、自衛隊基地など、産業はもとより環境保全や毎日の暮らしに欠かせない多くの施設で使われている。

「大型タンクは工場で製作班が部材を加工し、それを現地で現場班が組み立てるので高い精度が求められる。これまでの経験とノウハウ、熟練工の確かな技術力で作り上げる製品は高い品質評価を受けている」と、村中美香社長は自信を示す。手溶接したテストピースを顧客に提出したところ、「本当に手溶接なのか」と驚かれたことも。

80種類を超える資格者が在籍する 技術者軍団

その裏には日々、技術を磨いている社員たちの努力がある。「流れ作

業ではなく、数人の製作班毎に製品を受け持ち、他班に負けないよう切磋琢磨する。勉強会を開いたり、職種別キャリアの目標を立てて資格取得に励んでいる」（村中社長）という。同社の有資格者リストには80種類を超える資格が並び、社員の成長を支援するため、「講習会費や日当、受験料、更新費を含めたすべての費用を会社が全額負担している」（同）。国家資格のような難易度の高いものについては「さらに報奨金を出す」（同）などして、取得を奨励しているという。竹森工業の技術に対する並々ならぬ思いが伝わってくる。

同社の強みは時代の要請に応じた案件への対応力だ。東日本大震災後には新耐震基準に伴う既設タンクの補強工が増えた。地球温暖化対策が急務となった現在では、下水処理場で発生する汚泥から回収したメタンガスを再生利用する消化ガス発電設備用の消化槽を全国各

地に納めている。

このほかにも持続可能な航空燃料(SAF)や水素エネルギー、電気自動車(EV)、ペットボトルのリサイクル設備などSDGs関連の仕事案件が増えているという。

これまで全国の自衛隊基地へ大小80基の燃料タンクを納めており、現在も7,000立方メートル燃料タンクを据付工事中。2025～26にかけても3基の据付工事が予定されており、先行きも明るい。

意欲的に行動できる人材を採用

同社のようなオーナー会社では、経営者が1人で社内を引っ張っているケースも少なくない。そうなると社員もトップ任せになりやすい。ところが同社では、ここまで築き上げてくれたベテランから技術を引き継ぎ、自分たちが次世代を担うという思いを社員一人ひとりが持っている



現地組タンク(消化槽)



明るい白井工場内景

という。「次の課題は、現場からのボトムアップと他社が模倣できない強みの伝承だ」と、村中社長は見る。

そのために重要なのが人材だ。製作する過程では時折トラブルが発生、できない理由よりできる方法を考え、知恵を絞って解決策を導き出す、その過程を楽しめる前向きな人材を育成する。現在、現地の工科大卒者を卒業したベトナム人技術者の正規雇用は6名、職場の多様性も実現している。来年度からは、管理職候補となる理工系大卒者の募集も本格

的に始める。村中社長は「モノづくりが好きで、プラント関連の仕事をしたい人、プロジェクトの達成感を味わいたい人は、ぜひ応募してほしい」と新たな仲間づくりに意欲を燃やす。

竹森工業の経営理念は「誠心誠意」「知恵と技術」「人間尊重」「社会奉仕」。村中社長は、この理念を重視。「先代より人とのつながりを大切に、信頼の構築をはかって会社を築き上げてきた。また、きれいな製品はきれいな工場から生まれるとの考えから、整理・整頓・清掃・清潔の4Sを徹底。

工場内へ入っても明るくきれいで、従業員の挨拶も気持ちがいい。働きやすい環境を積極的に整えているので、社員の定着率は高い」と明かす。

今後は「売り上げを伸ばすよりも、質を高めたい。そのためにDXにも取り組んでモノづくり体系の再構築を図る」（村中社長）。この目標に向けて、社員一人ひとりのスキルアップと得意分野を伸ばし、技術の伝承とボトムアップを実現して業務プロセスを再設計し、新たなビジネスモデルを構築してモノづくりに取り組んでいく。



代表取締役
村中 美香氏



仕事と生活の調和がとれる、やりがいある職場

竹森工業は製缶業でありながら、女性も大活躍。社長をはじめ、総務経理部、営業部、調達部、検査部、工事部、溶接班、製缶班のすべてに女性が在籍しており、産休・育休の取得率は100%。時短など働きやすい環境なので安心して復帰できます。もちろん男性の育休取得も実績あり、イクメンも多数在籍。ワークライフバランスを重視して

いるため、子育てから介護まで実際に経験している人も多く、職場の相互理解も深いです。有給休暇の取得率は80%、残業はほとんどないのでプライベートの時間もしっかり確保できます。当社のモノづくりは、社会への貢献が目に見えるやりがいのある仕事です。この仕事に興味を持ったあなた、ぜひ一緒に仕事をしましょう！



製作班メンバー



クレーン実務勉強会

会社DATA
所在地：千葉県鎌ヶ谷市東道野辺7-18-25
拠点：国内事業所2カ所
設立：1969年7月
代表者：村中美香
資本金：3500万円
従業員数：80人(2024年11月末現在)
事業内容：ステンレス(SUS)・炭素鋼(CS)製タンク・サイロ・圧力容器・製缶品・熱交換器などの設計、製作から現場据え付け工事までの一貫業務。耐食合金(MAT21・ハステロイ)やチタンクラッドなどの特殊鋼材での製作にも対応
URL：<https://www.takemori.co.jp/>

